

まごころ通信

教育長コラム

～「組織人」(そしきじん)～

三の丸小学校の校長だったころ、A教諭からこんな提案をされたことがあります。1「美化部で【金曜クリーン】をやりたいと思います。」金曜クリーンとは、金曜日の帰りに子ども達が身の周りのごみを拾い、机の中とロッカーを整頓し、机を真っすぐに並べて帰ります。月曜日にはきれいな教室が子ども達を迎えてくれるという取組でした。A教諭はさらに続けて、2「先生方には、月曜日の朝の会できれいな教室が迎えてくれて気持ちがいいねと子ども達に投げかけてもらいます。美化委員会と共に取り組み、全校で美化意識を高めます。定着したところに、3 校長先生には朝会で子ども達を褒めていただきたいです。」という提案でした。

2カ月、3カ月と経つうちに、子ども達が進んでごみを拾う姿、掃除に真剣に取り組む姿勢など、子ども達の様子に変化が見られるようになり、数カ月後には安定した取組へと変わっていきました。

組織人(そしきじん)とは、『与えられた仕事を無難にこなすだけのただの組織の人ではなく、学校教育目標をもとに仕事の目的をしっかりと理解して、子ども達のためにどうすることが良いことなのかを考える、仲間と情報を共有し知恵を出し合い、かかわりを大切に、一枚岩体制で仕事に取り組む職員』であると私は考えています。組織人の集団となることで、創発的な発想が生まれ、組織に躍動感、うねりが生じて学校が活気づきます。仕事の成果が、職員一人ひとりの力の「総和」から「総積」に変わると私は信じています。

校長時代から、社会力の育成・人・もの・こととのかかわりを通して、子ども達が健やかに成長することを目指してきました。

この取組では、美化部の職員がかかわりを大切にして、組織人として

- 1 美化部全員で子ども達の様子を見極め、知恵を出し合い、学校教育目標(かかわり)を意識して取り組んだこと。
- 2 子ども達の実践力を継続させ、全校で取り組む意欲付けを図ったこと。
- 3 学校組織全体で取り組んだこと。

が、功を奏したと思います。

結果として子ども達の美化意識が高まり、学校全体で一体感を持った取組へと発展していきました。

整頓された環境での生活は、子ども達の精神の安定・学習効果の高まり・給食時間の充実・安全な環境づくり等へと繋がり、学校に躍動感、うねりが生じました。

組織の一員から組織人となることは、自他の成長、組織の充実、社会力の向上に欠かせないと考えています。



小田原市教育委員会教育長

柳下正祐



小田原版 STEAM 教育が始まっています

小田原版 STEAM(スチーム)教育とは、郷土小田原をフィールドに、生徒が地元小田原に実在する問題に向き合い、その問題の解決のために様々な教科で学習したことを生かして探究的・創造的な活動を行い、より良い社会を実現しようとする資質・能力(社会力)を育成しようとするものです。

中学校の総合的な学習の時間の一部の時間を使って、取り組んでいます。

中学校で取り組んだ地域の問題の例

- 小田原鑄物の魅力発信
- 災害に強いまちづくり
- 住み続けたい街・移住したい街
- 町の拠点としての魅力ある駅づくり
- 下中玉ねぎを応援しよう ……

地域の方や地元の企業、商店、鉄道会社、市役所の関係部署など、地域とつながりのある様々な方と関わりながら、地域の問題について考え、解決に向けて探究していきます。

生徒の声

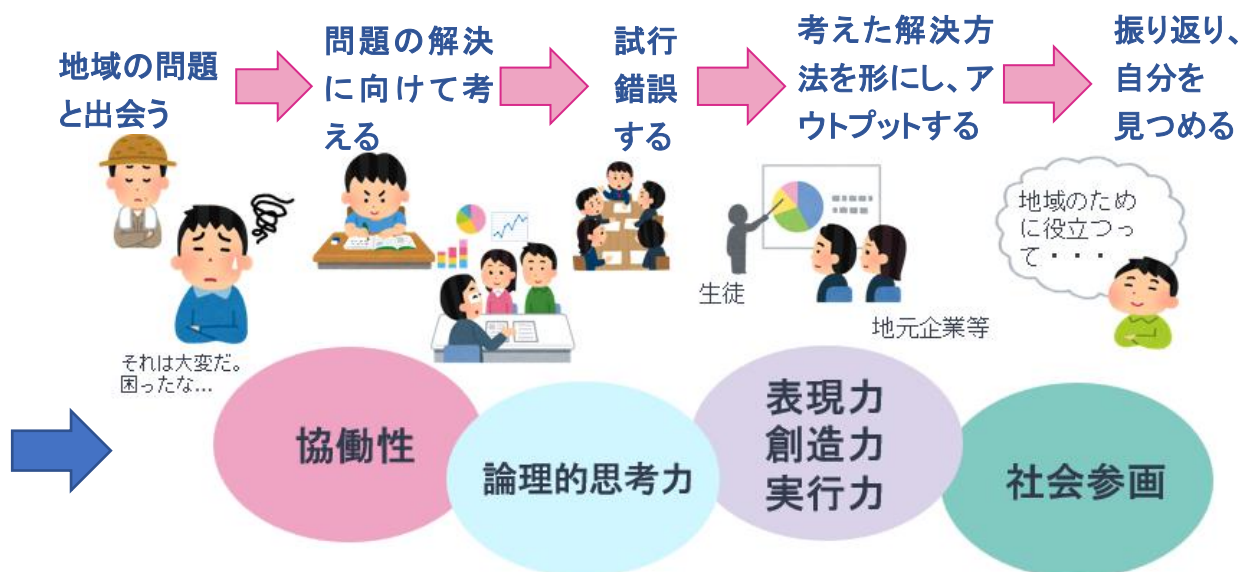


自分が小田原に長い間住んでいても知らなかったことがたくさんあった。インターネットだけでなく、誰かにインタビューすることで、課題や改善策を考えることができた。



同じ角度から考えないで、違う人の意見からも考える大切さに気付いた。

「小田原版 STEAM 教育」で育む資質・能力(イメージ)



予測困難な社会の中で、未来を創っていく子どもたちに必要な資質・能力を、小田原をフィールドに育てていきます。

お問い合わせは教育指導課 (☎0465—33—1730) まで